

ネイチャーセンター 準備室だより



写真：太齋彰浩

アカモクの 海中林

春は海藻たちがイキイキする季節。水は冷たくとも、日の光をいっぱい浴びてその葉を広げていきます。その中でもアカモクは特に大きく（長く）成長する海藻で、水面に向かってグングン体を伸ばしていきます。時には10mを越え、水面に達した後、そのまま横方向に伸びていくことも。実は、アカモクは空気が入った袋（浮袋）を持ち、その浮力で海中で直立することができます。

アカモクの寿命は1年で、春過ぎには根元から切れ、海面を漂う「流れ藻（ながれも）」になります。そして沖へ出た流れ藻は、サンマやトビウオなどの重要な産卵場所となり、一生を通じて様々な生き物の揺りかごとしての役目を果たします。

アカモクは「ギバサ」と呼ばれ食用にもされます。日本海側では、ギバサ汁は春の風物詩と言えるでしょう。独特のヌメリには豊富な食物繊維が含まれ、美容と健康にも効果が期待できます。この春、アカモクをはじめ様々な海藻たちを味覚で味わい、海をより身近に感じてみてはいかがでしょうか。

編集後記

▶現在、ラムサール条約登録に向けて動いている南三陸町の志津川湾。そんな志津川湾には、貴重で多様な生物が生息しているといえます。▶今月の表紙は、志津川湾海底にて撮影された「ヘイゴコロ」という紅藻です。海底調査の時に撮影されたという写真をネイチャーセンター準備室からいただきました。陸上だけではなく、海中にも目を向けてみると、こんな綺麗な景色があるのですね。▶そんな海を含めた南三陸町の自然を学べる機会があります！詳細の記事は15ページに掲載しておりますので、ぜひ、お越しく下さい♪

小野寺

わが家のアイドル



しゅ じゅ
佐々木 珠 鷲ちゃん

(平磯)

平成28年6月5日生まれ

パパ 龍 一さん

ママ みゆきさん

おうちの方から一言

大きな目が魅力的な珠鷲ちゃん。その笑顔はやさしい春風のように。ママのように強く元気で美しい女性になってね。